

グーグルは、パソコンなどで書籍を一冊丸ごと読めるようにする有料サービス「グーグル・エディション」を米英など英語圏で2010年春にもスタートさせると発表した。このサービスは、現在行っている書籍の一部分だけを読める「ブック検索」を拡大した事業で、出版社の同意を得たうえで行うというもの。

日本でも遅くとも2010年秋にはスタートさせ、開始時点で最大1万冊をそろえるという。しかし、日本の大手出版社の多くは現時点で作品提供に慎重。アマゾンの「なか身検索」にもなかなか応じなかったことを思うと、普及に時間がかかる可能性もある。新サービス「グーグル・エディション」では、グーグルが出版社から提供を受けた書籍をスキャナーを使って電子データ化、ネットを通じて有料で販売する。